

令和3年度 クワガタ活性化事業現況画像集

令和3年4月活動実績

友人の竹山にて旬のタケノコ掘りをメンバー内の希望するご家族に『里山体験』を実施した。



新年度開講に向けた説明会&事業費で購入し、飼育に挑戦する外産クワガタ



令和3年5月活動実績

5/5外産オオクワガタの産卵セット



人口蛹室作製講座(コロナ感染防止の為、鳥帽子スポーツの里屋外敷地を借りて1家族ずつ時間を分けて5/22と5/23に分けて実施



令和3年6月活動実績

昨年川小6年生に続き、6月後半繁殖に見事初成功した佐世保市の小学2年生



飼育に必要な最低限の飼育用品を研究会から支給する。他の子達も頑張って欲しい!!



高学年上級生には昆虫標本の作り方を指導する。見事手作り標本の完成、今後種類を増やし夏休みの研究課題として提出する。



←目指すところはこちらの標本



コロナ蔓延の為6月の講座(出張講座含む)は修了



令和3年7月活動実績

老健施設での慰問イベント介護予防福祉事業への協力・協賛①



老健施設での慰問イベント介護予防福祉事業への協力・協賛②

部屋に引きこもっていた利用者様もご家族や、近隣の子供達の楽しそうな声を聞き、部屋から出て来られ、子供達との交流を楽しめていたのが印象的であった。(カブトムシ100匹協賛)



クワガタ研究会創立10周年記念 町民感謝公演『中国変面ショー』

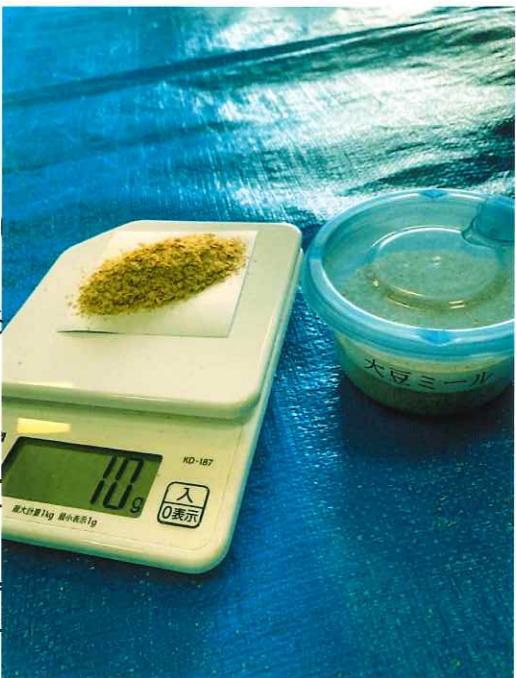
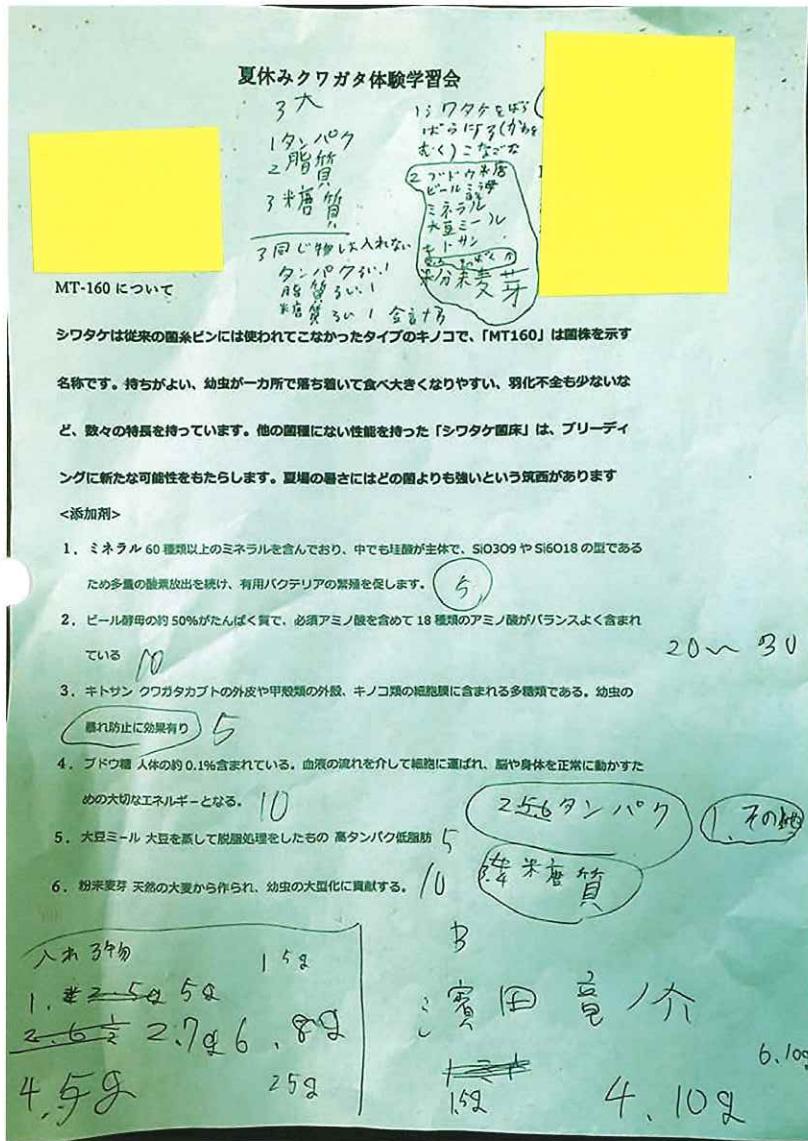
当研究会飼育指導員 勝龍による変面ショー
参加者60名の町民ご家族にカブトムシ約100匹プレゼント



7/15放送 KTNテレビ長崎番組『マルっと』へテレビ生出演(認定証も頂きました)



7/18 夏休み親子でクワガタ体験学習会(予定していた夏休み昆虫教室が講師都合により中止の為 代替)



クワガタ幼虫の餌作りをやりました。
AとB2つの班に別れて用意した6種類の添加剤の特性について講義を受けたあと、それぞれどの添加剤をどれだけ混ぜて菌糸瓶を作るかを班ごとで話し合い、実際に作って貰った。

我々経験豊富なブリーダーでも悩みますから、保護者の方へ相談するのOKとしました。

知識豊富な上級生を2人をそれぞれの班の責任者として、班内をまとめることで分からることは周りの大人の人に聞き、アドバイスを受けて自らの責任で行うこと…。

学校や住んでいる地域の違う子供達が1つの目的に対し協力し合って進めることで、コミュニケーション力の育生、上級生は下級生をまとめ指導するリーダーシップ力の向上、この先困難な事にぶつかった時には、周囲の大人へSOS発信しアドバイスを受けることなどを目的とした学習

7/25一般企業のCSR活動(地域社会への貢献)への協力&協賛

今期は一般企業様からの引き合いも有り、隣町のはさみプロジェクト(株)様とガリバー大村店様で昆虫イベントを予定
はさみプロジェクト(株)様は中止となった為、ガリバー大村店でのみの開催となった。



オオクワガタ相撲に歓声
ガリバー大村店

夏休み中の子どもたちに思い出を作ってもらおうと、大村市片町のガリバー大村店は25日、カブトムシ釣りやオオクワガタの相撲大会を開き、多くの家族連れでにぎわった。
クワガタの飼育を通じ、子どもたちに命の大切さを学んでもらうことなどを目的に活動する川原町オオクワガタ研究会(山下勝理事長)が協力した。
オオクワガタ相撲には、同研究会で飼育している“世界最強”と言われるスマトラオオヒラタや10戸近くあるバラワンオオヒラタが登場。はさみで組み合ったクワガタに子どもたちは「持ち上げろ」と声を上げていた。
会場ではカブトムシやクワガタを木の棒で釣り上げるイベントも。カブトのオスとメスを釣り上げた長崎市立城山小3年の松本幸翔君(9)は「クワガタもカブトもどっちも好き。大切に飼育したい」と笑顔で話した。

(荒木龍樹)

カブトムシ釣りもクワガタ相撲も大盛況で長崎新聞にも紹介して頂いた。秋にもイベント要請を受けたが、コロナ感染拡大のため断念した。

和3年8月活動実績



8月は2回烏帽子スポーツの里で予定されていた昆虫教室であったが、コロナ感染が佐世保で拡大した為に中止した。その後も感染拡大が止まらず。8/19日に長崎県初の緊急事態宣言&国から蔓延防止もだされ、9月から新学期が始まり、さらに感染拡大に拍車がかかることが容易に予想される為、今後の事業を取りやめた。

令和3年10月活動実績



10／11当研究会受講生が
学校推薦にて下村科学賞に
ノミネートされたことを
表敬訪問にて町長・教育長
へ報告する。



下村脩ジュニア科学賞SASEBO

第13回下村脩ジュニア科学賞SASEBO 作品募集

佐世保市教育委員会では、第13回下村脩ジュニア科学賞SASEBOの作品を公募しています。下村脩ジュニア科学賞SASEBOは、佐世保市の名門市民である下村脩博士のノーベル賞受賞を受け、下村博士の「科学分野で大きく世界に称賛されたい人材を育成したい」との想いから平成21年に自設されたもので、中学生の皆さんのがんばった作品を賛美しています。

東え未来のノーベリスト！ ※ノーベリスト・ノーベル賞受賞者のこと。

募集部門 表彰 告知方法：掲切

小学校低学年部 小1～小3】下村脩ジュニア科学賞・各部門1名程度
小学校高学年部 小4～小6】下村脩科学賞・各部門1名程度
中学校の部 中1～3】下村脩科学賞・各部門1名程度

応募条件

(1)個人またはグループで、より少ない時間にまとめて、より多くより多くの人に見てもらいたいこと。
(2)どうぞもじやうめいな表現で、より多くより多くの人に見てもらいたいことを表現してもらいたいこと。
(3)表現するための道具は、模型や模型、模型や模型など、たとえば、模型や模型など、模型や模型などなどとておこなうことができます。

応募書式

(1)提出：生徒の手書きまたはパソコンのワープロソフトによる提出とする。

(2)提出場所：佐世保市立少年科学館（八幡町一丁目1番1号）、佐世保市立少年科学館（八幡町一丁目1番1号）

（3）提出料：無料

賞品

下村脩ジュニア科学賞

各部門1名程度、佐世保市長賞

佐世保市教育長賞

・表彰状

・記念品

下村脩ジュニア科学賞に関するお問い合わせは

TEL 23-1517 佐世保市少年科学館

佐世保市総合教育センター 星カラリ

コロナも治まってきたことから、鳥帽子スポーツの里様のご厚意により敷地内にて10／10日と24日の両日に渡り臨時講座を行った。



令和3年11月活動実績



波佐見プロジェクトメンバーとの交流
波佐見町地元学童の子供達と



11／14クワガタ活性化事業最終日の飼育体験教室